

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-イ	市場特性に対応した誘客活動の展開		
施策	②海外誘客活動の戦略的展開			
(施策の小項目)	○海外誘客の推進			
主な取組	那覇港人流機能強化関連事業	実施計画 記載頁	179	
対応する 主な課題	○海外からの誘客については、アジアからの観光客が増加傾向にあるが、海外における沖縄の認知度は依然として低い状況にあることから、観光マーケティング力を強化し、アジア諸国や欧米を中心に誘客ターゲットを絞り込み、効果的で戦略的なプロモーション活動を展開することが重要である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	那覇港においてクルーズ船受入促進するため、クルーズ船入出港時等において、エィサーなどの歓送迎セレモニー等を促進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	みなとまちづくり活動支援、ポートセールス等事業					→	那覇港管理組合
担当部課	土木建築部 港湾課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
那覇港人流機能強化関連事業	4,881 (0)	4,881 (0)	那覇港における浦添ふ頭緑地(東)整備、クルーズ受入促進事業(歓送迎セレモニー77回)及び泊ふ頭岸壁(-4.5m)改良の実施	県単等
活動指標名			計画値	実績値
-			-	-
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	平成26年度予定していたクルーズ受入促進事業及びポートセールスを計画通り実施したことにより、クルーズ船寄港回数は、過去最高の80回を記録し、海外誘客の促進が図られた。また、那覇港は、日本外航客船協会が主催する「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014」特別賞を県内で初めて受賞した。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
那覇港人流機能強化関連事業	4,881 (0)	那覇クルーズ促進連絡協議会で、クルーズ受入促進事業(歓迎セレモニー等)及びポートセールスを実施する。	県単等

(3) これまでの改善案の反映状況

那覇市、旅行会社及び観光協会等の関係機関との協働により、受入セレモニーの充実並びに地元住民、乗船客及び乗組員等との交流を図り、地域一体となったおもてなしにより、満足度を向上するための取組を推進し寄港回数や乗客数の増加に寄与する。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
外国人観光客数 (うち海路来訪者数)	11.9万人 (23年度)	24.0万人 (26年度)	23万人 (28年度)	12.1万人	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	那覇港の年間旅客者数は年々増加していることから、外国人観光客数も同様に増加していると考えられ、当該取組により観光客誘致活動や港湾施設の早期強化・拡充などの観光客受入体制の充実を図られた。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・今後も那覇港における旅客者数の増加が見込まれるため、観光地としての快適な周辺環境の整備の重要性が増している。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・国内の他寄港地でも同様な演舞等のセレモニーが行われていることから、独自性のあるセレモニーの検討が必要である。

4 取組の改善案(Action)

・県及び那覇港管理組合は、那覇市、旅行会社及び観光協会等の関係機関との協働により、他寄港地との差別化を図り、観光客及び利用者の満足度を向上させるため、独自性のあるクルーズ船受入セレモニー等を検討する。